

令和 6年茅野市議会意見交換会

まんなか愛のある未来会議

令和 6年 11月 10日(日)、12日(火)

ー 市議とトーク！これからの議会について ー

市民の皆様と議員が対話する意見交換会を、令和 6 年 11 月 10 日（日）午前と 12 日（火）夜に開催しました。テーマを「議会・議員に期待するもの」として、合わせて 34 名の皆様にご参加いただき様々なご意見をいただきました。「議会・議員活動に対する改善や要望」「議員のなり手不足対策」「議員定数・報酬のあり方」「その他意見」の 4 項目について、活発な意見交換がなされました。今後の議会活動、議会改革に役立てていきます。



- ### 議会・議員活動に対する改善や要望
- 1 議会活動の透明性の向上**
 - ・議員の活動報告を定期的に公開し、マニフェストの進捗を明示。
 - ・議会中継を即日アップし、市民がいつでも視聴できるようにする。
 - 2 市民との接点の増加**
 - ・「議員カフェ」など、市民が議員と気軽に話せる機会を設ける。
 - ・定期的な意見交換の場を設け、市民の声を直接聞く。
 - 3 若者・女性の参加促進**
 - ・若者や女性の意見を反映する取り組みを強化し、参加を促す。
 - ・SNSやデジタル技術を活用して、若者層へのアプローチを強化。
 - 4 デジタル化の推進**
 - ・LINEやYouTubeなどを活用し、市民からの要望を受け付けるチャンネルを設置。
 - ・議会の議論内容を分かりやすく公開し、興味を持つってもらう工夫をする。
 - 5 教育・研修の充実**
 - ・議員の専門性向上のため、定期的な研修や勉強会を実施。
 - ・他市や他国の先進事例を参考にし、議会の在り方を見直す。
 - 6 行政のチェック機能の強化**
 - ・議員提言を積極的にに行い、市民の意見を反映した議案を検討する。
 - ・情報開示を迅速に行い、議事録を速やかに開示する体制を整える。
 - 7 地域課題解決への取り組み**
 - ・現場視察を増やし、地域の実情を行政に伝える手段を強化。
 - ・地域の課題解決に向けた具体的な施策を議会で議論し、実行に移す。

議員定数・報酬のあり方

1 定数削減に対する懸念

- ・削減の影響 定数削減が地域密着型の議員を減少させ、市民の意見を反映する機会を減らす可能性がある。

- ・多様な意見の必要性 議員を増やして多様な意見を反映させるべきとの意見が多い。

2 定数の適正規模

- ・現在の定数 18人は適正であり、これ以上の削減は避けるべきとの意見が強い。

- ・地域ごとの選出 各地区から2人選出する形で、20人が望ましいとの声も。

3 議員の資質向上

- ・資質の向上 議員の資質を高めることが定数削減の代わり求められる。

- ・議員活動の見える化 議会や議員活動の透明性を高めることで、市民の信頼を得る必要がある。

4 報酬に関する意見

- ・報酬の引き上げ 生活の安定を図るため、報酬の引き上げが必要との意見がある。

- ・報酬の適正化 報酬は必要経費として平等に支給されるべきであり、議員活動に見合った内容であるかが問われている。

5 市民との対話の重要性

- ・市民の声を反映 議員は市民の意見に耳を傾け、対話を促進する姿勢が求められる。

- ・議会改革の必要性 定数削減が議会改革ではなく、市民の意見を広く集めるために議員定数を増やすべきとの意見も。

6 議員活動の負担

- ・負担の軽減 議員の人数を増やして一人一人の負担を減らし、兼業できる体制を作ることがかなり手不足解消に繋がるとの提案。

一生懸命活動している議員は、自分の椅子が余っているとは思わないのでは？

意見を広く集めるのに必要な人数にすべき

地盤などがある人以外の若者や女性が当選しづらくなる

手取り20万では魅力がない

定数を減らして本当に大丈夫？

慎重に検討すべき

議員定数・報酬のあり方

1. 定数削減に対する懸念

・削減の影響

地域密着型議員減少

市民意見反映機会減少

・多様な意見の必要性

議員増加で多様な意見反映

2. 定数の適正規模

・現在の定数

現状の定数（18人）は適正

さらなる削減は避けるべき

・地域ごとの選出

各地区から2人選出

20人が望ましいとの声

3. 議員の資質向上

・資質の向上

定数削減の代わり求められる

・議員活動の見える化

議会・議員活動の透明性向上

市民の信頼獲得

4. 報酬に関する意見

・報酬の引き上げ

生活の安定のため必要

・報酬の適正化

必要経費として平等支給

議員活動に見合った内容か

5. 市民との対話の重要性

・市民の声を反映

議員は市民意見に耳を傾ける

・議会改革の必要性

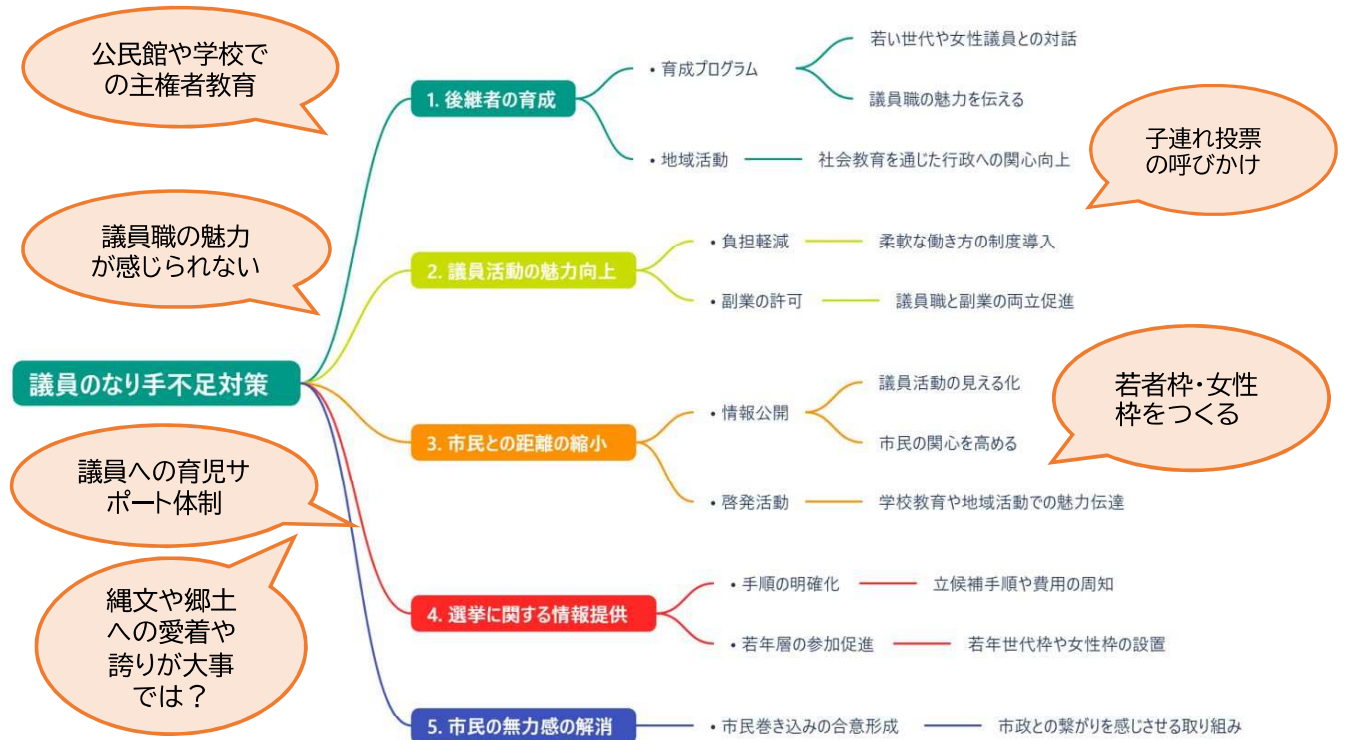
定数削減ではなく議員定数増加の意見

6. 議員活動の負担

・負担の軽減

議員人数増加で負担軽減

兼業できる体制の提案



議員のなり手不足対策

1 後継者の育成

・育成プログラム 若い世代や女性議員との定期的な対話の場を設け、議員職の魅力を伝える。
・地域活動 地域や公民館での社会教育を通じて、行政への関心を高める。

2 議員活動の魅力向上

・負担軽減 議員活動の負担が大きすぎるため、柔軟な働き方を可能にする制度の導入が必要。
・副業の許可 議員職と副業の両立を促進し、立候補しやすい環境を整える。

3 市民との距離の縮小

・情報公開 議員の活動が見える化し、市民がチェックできるようにすることで関心を高める。
・啓発活動 学校教育や地域活動で議員職の魅力を伝える取り組みを強化。

4 選挙に関する情報提供

・手順の明確化 立候補の手順や選挙にかかる費用を広く周知し、ハードルを下げる。

・若年層の参加促進 若年世代枠や女性枠を設け、議員職を将来の選択肢として位置づける。

5 市民の無力感の解消

・市民巻き込みの合意形成 市民が市政に繋がっていると感じられるような取り組みを強化し、無力感を軽減する。

その他意見

市民の様々な意見が寄せられており、議員や市政に対する透明性、地域コミュニティとの連携、財政(お金)の使い方に関する疑問が出されていました。また、市民の声を多様な方法で聴取し、具体的なテーマでの議論を促進する必要性が指摘されました。

